

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広
報
誌

よりそう

vol. 42

第50回 日本骨折治療学会学術集会

The 50th Annual Meeting of the Japanese Society for Fracture Repair

杜の都・仙台で開催

～骨折治療の歴史を振り返り、
次への一步を踏み出す契機に～

第50回日本骨折治療学会学術集会

会長 **井上 尚美**

(医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 院長)

仙台徳洲会病院 看護部



広報ブログ



日本骨折治療学会 学術集会

覧古考新テーマに開催

総演題数800超で

過去最大規模

会長は、井上 尚美 院長



第50回日本骨折治療学会学術集会が6月28日から2日間にわたって開催されました。会場は仙台市青葉区にある大規模催事場「仙台国際センター」。2015年12月に開業した仙台市営地下鉄東西線「仙台駅」から約5分、「国際センター駅」の目の前というアクセス至便の立地です。

会長を務める井上院長は日本整形外科学会専門医などの資格を有し、日本骨折治療学会では理事や教育委員会委員長など歴任してきました。2014年には同学会の渡部欣忍・前理事長などとともに髄内釘研究会を立ち上げ、現在も評議員と教育委員会アドバイザーに就いており、講演会やハンズオンセミナー（実技中心のセミナー）で講師を務めたりするなど、後進の育成や技術指導に注力しています。

同院整形外科が事務局を担い、「覧古考新—半世紀の歩みと次への一歩—」をテーマに開催した今学術集会は、総演題数800超と過去最大規模となり、参加者は過去最多の2,356人を記録。徳洲会グループからはシンポジウムやパネルディスカッション、主題、一般演題、ポスターの各セッションで15演題の発表を行ったほか、多数の座長を担い、特設ブースの出展も行いました。

初日の開会挨拶に登壇した井上院長は「学術集会のテーマである『覧古考新』は、古い事柄を顧みて、新しい問題を考察するという意味です。50回の節目の学会にふさわしいテーマを掲げました。歴代理事長から本学会の歴史を知る特別企画や、文化講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ディベート、主題、一般演題などと目白押しです。2日間にわたり皆さんと多くのことを共有し、これからの骨折治療を考えるきっかけになればと考え、それぞれのプログラムを企画しました」と呼びかけました。

徳洲会グループからは、湘南鎌倉総合病院（神奈川県）が7演題、仙台病院が2演題、岸和田徳洲会病院（大阪府）、八尾徳洲会総合病院（同）、和泉市立総合医療センター（同）、福岡徳洲会病院、宇治徳洲会病院（京都府）、湘南厚木病院（神奈川県）が各1演題を発表しました。

歴代の理事長が勢ぞろい 次世代に向けメッセージ

井上院長は会長を務めながら、自身も「脆弱性骨折の治療—急性期から Geriatric Careまで—」をテーマとするスポンサード・シンポジウムで、「脆弱性上腕骨近位端骨折」との演題名で発表を行ったほか、歴代の理事長が登壇し任期期間を振り返りながら次世代にメッセージを寄せる特別企画などで座長を担いました。

シンポジウムでは仙台病院での脆弱性上腕骨近位端骨折に対する治療成績を検討し、手術治療として実施している髄内釘骨接合術や人工骨頭置換術、リバーズ型人工肩関節置換術についての手術のポイントや症例を提示。「骨折型、年齢、受傷前ADL（日常生活動作）、骨脆弱性を考慮した手術治療法を選択することで、良好な臨床成績が期待できます」とまとめ、発表後は他のシンポジストたちと共に、二次骨折予防などについて活発に討論を行いました。

「シンポジウム3 インプラント周囲骨折」をテーマとするシンポジウムに登壇したのは、湘南鎌倉病院の二村謙太郎・外傷センター部長。「Interprosthetic femoral fracturesの治療戦略」と題して発表。人工骨頭置換術と人工膝関節置換術を行い、大腿骨の近位部と遠位部のそれぞれにインプラントが埋め込まれているケースで、インプラント間の大腿骨に生じた骨折に対する治療戦略について、症例を提示するとともに考察を加えながら解説しました。

「パネルディスカッション4 大腿骨転子部骨折に対する Short Femoral Nail (SFN)法を再考する」というテーマを設けたパネルディスカッションには、仙台病院の芝 太郎・整形外科医師が登壇し、「Gamma Nail (Gamma 3 Nail & Gamma 4 Nail)」と題して発表。Gamma Nailは大腿骨近位部骨折の治療に用いる髄内釘システムで、1988年に誕生し、2003年にGamma 3、2023年に最新のGamma 4が登場しています。芝医師はGamma 3、Gamma 4のそれぞれを用いた症例を後方視的に調査し、豊富な症例画像を供覧しながら、治療成績（歩行能力、画像評価）や合併症（術中・術後）について検討。「本調査での短期治療成績はそれぞれ良好でした。インプラントにかかわらず、骨性支持（脊柱を骨で支える）の獲得が重要であり、Gamma Nailは歴史もあり手技が簡便であることなどの特徴があります」とまとめました。

パネルディスカッションに登壇した仙台徳洲会病院 芝 医師(右)



これら演題発表以外にも、「若手セッションー骨折治療てらこやー」と題し、小児上腕骨顆上骨折、大腿骨転子下骨折、開放骨折の初期治療、骨盤骨折の初期治療の4つをテーマにした症例検討ベースのセッションで、湘南鎌倉病院の3人の医師がレクチャーを行いました。

また会場の一隅には、徳洲会グループの歴史や活動を紹介するパネル展示などを行う特設ブースを出展。通りかかった学会参加者が足をとめ、パネルに見入る場面も見られました。

2日間の日程を終え井上院長は、学術集会の運営をサポートした関係各位に謝意を表したうえで、「学術集会として充実したものとなるよう、念を入れてプログラムの構成など考えてきました。充実した学会にするとともに、おもてなしの心で、参加した皆さんに楽しんでいただきたいと思いますという気持ちで取り組んできました」と閉会挨拶を行いました。



会場となった仙台国際センター



学会上の一角で徳洲会をPRした特設ブース



4階北
病棟～心にとどく看護を～
回復期リハビリテーション病棟

■ 回復期リハビリテーション病棟とは？

病気やケガで手術などの治療を受け、病状が安定しはじめた頃（発症・手術後から1ヶ月程度）を回復期といいます。この時期に集中的なリハビリテーションを行う事で低下した身体機能や能力が回復しやすくなります。しかし合併症などのリスクもまだ残っている時期でもあります。そこで患者様が安全に必要なケアを受けながらリハビリテーションを行うことができる病棟を、回復期リハビリテーション病棟と言い、病棟専任の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が患者様それぞれに応じたリハビリのお手伝いをさせて頂くと共に、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、エイド（看護補助者）、クラーク（病棟事務）、ソーシャルワーカー（MSW）、医事課など各職種がチームとなり支援しています。

生活の場で必要な動作を習得するため、屋外歩行練習や買い物練習、家事動作練習（炊事、洗濯、掃除等）も行っています。また、実際にご自宅に伺って、環境や動線を確認させていただくなどの退院前訪問指導も実施しています。

■ 病棟の機能と役割について

病棟では自宅復帰を目標とし、リハビリテーションの提供や合併症を予防するためのケアを実施していきます。具体的には、ADL（日常生活動作）向上や寝たきり予防、認知力低下予防などが上げられます。

■ 回復期リハビリテーションの対象疾患

対象疾患	入院期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後の状態または義肢装具訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折または2肢以上の多発骨折の発症後または手術後の状態	90日
外科手術後または肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	60日
股関節または膝関節の置換術後の状態	90日
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患または手術後の状態	90日

■ 回復期リハビリテーション病棟はどんな事をするの？

回復期リハビリテーション病棟では、身体機能の回復や能力の改善に向け、身体機能の面では座る・歩く・車いすに移動するなど患者様それぞれのゴールに向けてリハビリテーションを行っています。身体能力の面では、日常生活動作（服の着脱や食事摂取、トイレ動作など）、職場復帰や家庭復帰、趣味活動再開など患者様自身のライフスタイルに合わせたリハビリテーションも行い、患者様ご本人やご家族、専門スタッフと相談しながら設定していきます。

■ レクリエーションの支援

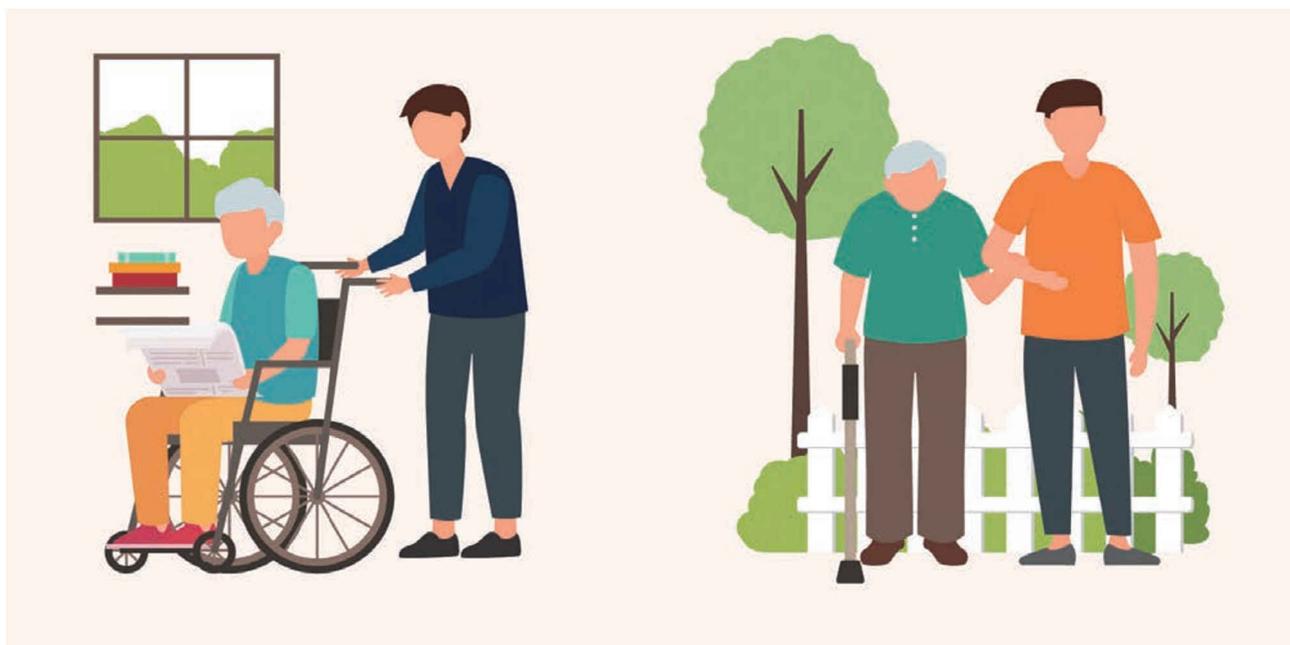
4階北病棟では月に数回レクリエーションを行っています。

季節を感じられるような制作活動や楽しい運動活動を通じて、気分転換を図りながら患者様がリハビリテーションに参加できるよう支援し、「運動不足の解消」、「コミュニケーションによる社会生活の維持」、「楽しみを感じる事による意欲の向上」などを目的として行っています。

■ チーム医療

当院では最先端のスマートベッドシステムを導入しており、患者様の睡眠時間や状態などモニターを通していち早く確認できるシステムがある為、安心して入院生活を過ごす事が出来るようになっていきます。

患者様が1日も早く快適な日常生活を送ることが出来るよう、積極的に患者様と関わりを持ち、各分野のスペシャリストが連携をとりながら、医療・介護サービスを提供しています。



医療講演会

開催してみませんか？



医療・福祉に関する講座を、町内会・PTA・各種団体サークルなどで開催してみませんか？目的にあった医療講演が開催でき、皆さまからのご質問もお受け致します。

講師派遣料を含み、お申し込み時に係る費用はございません。

病気の予防や健康増進のため、是非ともご利用ください。

各種団体
サークル

PTA

自治会・
職場

定期的に健康講座を主催される企業団体様からの
講師派遣依頼も承っております。

お問い合わせは、右記QRコードからご入力頂く方法と、メールやFAXなどお気軽に承っております。団体名、開催日時(予定でも可)、開催場所、聞いてみたいテーマ等をお送り頂ければ、対応可能な講師をご案内致します。

※講演に必要な機材は、全てこちらで準備致します。



仙台徳洲会病院主催

PC・スマホで見る

医療講演のお知らせ

主な講演テーマ

お薬の正しい付き合い方

お口の病気あれこれ

小児の予防接種

無痛MRI乳がん検診

大腸がん

～ダヴィンチ手術～

低線量肺がんCT

口腔乾燥症 etc...

逆流性食道炎

下肢静脈瘤の最新治療

甲状腺の病気

白内障

通所リハビリ

～楽しむ健康体操～

新たに開設・肝臓内科

肝臓がん治療とは

※オンライン講演は無料で視聴できますが、通信費用は参加者様のご負担となります。

お問い合わせ

仙台徳洲会病院 地域連携室

tel.022-771-5134 fax.022-771-5135



担当者tel. 070-6496-7346受付時間:月～金10:00～17:00

当院ではMRIを用いた乳がん検診
「ドゥイブス・サーチ」をはじめました。



無痛MRI 乳がん検診の特長



痛くない



見られない



被ばくがゼロ
だから安心

WEBでの**簡単予約**は、**コチラから**▶



低線量 肺がんCT検診

ご案内

レントゲンでは見つからない肺がんが
見つけやすい!



ここに肺がんがあるが見えない



ここに肺がんがある

検査対象

40歳以上

通常のCT検査よりも放射線

被ばく量の少ない検査です

- がんによる死亡者数の第1位は肺がんです
- 重喫煙者の方は、レントゲン検診よりCT検診の方が有効であることが証明されています
- 要検査となった場合、当院呼吸器内科での検査・治療ができます



医療法人徳洲会

仙台徳洲会病院 予防医学センター(ドック・健診)

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8

tel.022-771-5117 fax.022-771-5118